

## 第6学年 道徳（人権）学習指導案

### 1 主題 ちがいを豊かなものに

### 2 主題設定の理由（一部省略）

「ちがい」について「ちがいをどうすれば豊かなものにできるか」という視点で考えさせ、「ちがい」があることが問題ではなく、「ちがい」のとらえ方に問題があるのだということを理解させたい。その中で「ちがい」を責めることなく、受け止め、理解してきた自分たちのよさに気付かせたい。そのことが、これからも自信をもってよい仲間づくりをしていこうとする意欲を高めることにつながると考えた。また、自分自身に対しても「友達とちがうところ」を受け入れ「ちがっていてもいいんだ」と自分を肯定的に見られるようになって欲しい。

「ちがい」を豊かなものにする方法に気付き、実践していくことで自他を認め、よりよい仲間づくりをしていくことができると考え本主題を設定した。

### 3 ねらい

人はみんな違う個性をもっていることを再確認し、自分や周りの人を尊重し、認め合おうとする態度を育てる。

### 4 指導計画

#### (1) これまでの学習

学級活動 「ちがいのちがい」 . . . . . 1時間

「ちがい」について話し合うことを通して、身の回りにある「ちがい」に気付き、多様性を受容する態度を育てる。

#### (2) 現在の学習

道徳 「ちがいをどうすれば？」 . . . . . 1時間(本時)

#### (3) これからの学習

道徳 「<sup>ちゅう</sup>宙に消えた『ありがとう』」 . . . . . 1時間

自分の心を見つめ直し障がい者と「ともに生きる」社会をつくって  
いこうとする態度を育てる。

学級活動 「特別支援学級との交流」 . . . . . 2時間

ふれあいを通して関わり方を知り、自分にはどのような配慮ができるか考えよりよい学校づくりをしようとする態度を育てる。

## 5 本時の学習

### (1) 目標

「ちがい」を認め合い、よりよい仲間づくりをしていこうとする態度を育てる。

### (2) 普遍的な学習のテーマ 「ともに生きる」

### (3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。	1 「ぞうさん」を歌って本時のめあてにせまるよう方向付けをする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ぞうさんたちを笑顔にするにはどうすればよいだろう。</div>	
2 ぞうさんたちが、なぜちがうことは悲しいと思っているのか考える。	2 「ちがい」をとらえる側に問題があることに気付かせる。
3 資料「ちがいをどうすれば」を読み、ちがいを豊かなものにする方法を話し合う。	3 カードを提示し、「ちがいのちがい」の活動を想起させ、自分なりの考えをもてるようにする。
4 本時のまとめをする。	4 自分たちの生活を振り返らせ、よさに気付かせるとともに、より積極的に仲間づくりをしていこうとする意欲をもたせる。

### (4) 評価

- ・「ちがい」を豊かなものにする見方・考え方をし、よりよい仲間づくりをしていこうとする意欲がもてたか。 (価値的・態度的側面)
- ・「ちがい」について自分の考えを述べたり、友達の意見を聞いたりできたか。 (技能的側面)